

令和3年度第1回 府中市地域公共交通計画策定検討部会 会議録（要旨）

開催日時 令和3年6月2日（水） 午後2時から午後3時45分まで

開催場所 府中駅北第二庁舎3階小会議室

出席委員等 8名（名簿順）

岡村敏之委員、榎本聡委員、藤井一郎委員（代理：奥雅希氏）、齊原潤委員、早田俊介委員、小泉裕樹委員、小宅肇委員、松村秀行委員、

欠席委員 1名

平野景一委員

事務局

高橋都市整備部次長兼計画課長、松本計画課交通企画担当主幹、國分計画課長補佐、浅見計画課交通企画担当主査、荒井計画課事務職員

傍聴者 なし

議事次第

- 1 開会
- 2 部会長代理の指名について
- 3 協議事項
 - (1) 市民アンケートの調査結果について
 - (2) 地域公共交通の課題の抽出に向けた今後の取組等について
- 4 その他
- 5 閉会

会議概要

事務局

それでは定刻でございますので、ただいまから府中市地域公共交通計画策定検討部会を開会していただきたくと存じます。開会に先立ちまして、都市整備部次長の高橋よりご挨拶申し上げます。

事務局

委員の皆様、こんにちは。都市整備部次長の高橋でございます。本日はお忙しいなかお集りいただきまして、誠にありがとうございます。

本日開催いただきます府中市地域公共交通計画策定検討部会は、府中市地域公共交通計画の策定について専門的な見地から調査審議いただきたく、本年4月1日付けで設置されております。

地域公共交通計画の策定に向けて、委員の皆様より貴重なご意見をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいいたします。

事務局

本日は、府中市地域公共交通計画策定検討部会の最初の会議でございますので、委員の皆様にご自己紹介をお願いしたいと思います。

(委員の自己紹介)

ありがとうございました。

続きまして、事務局から自己紹介をさせていただきます。

(事務局職員の自己紹介)

本部会の部会長につきましては、3月3日開催の府中地域公共交通協議会において森本会長より岡村委員が指名されております。

議事進行につきましては、部会長である岡村委員をお願いしたいと思います。

それでは、岡村部会長よろしくお願いいいたします。

部会長

ただいまから、令和3年度第1回府中市地域公共交通計画策定検討部会を開会いたします。

まず、本日の委員の出席状況について、事務局から報告をお願いします。

事務局

(平野委員の欠席及び藤井委員の代理として京王電鉄株式会社鉄道事業本部計画管理部計画担当課長補佐の奥氏が出席する旨報告)

部会長

続きまして、傍聴者の有無について事務局から報告をお願いします。

事務局

(傍聴希望者がいない旨報告)

部会長

それでは、事前にお配りした次第に従いまして議事を進めさせていただきます。
次第「2 部会長代理の指名について」でございます。
事務局より説明をお願いします。

事務局

府中市地域公共交通協議会規則第5条第4項により、部会長に事故があるときは、あらかじめその指名する部会に属する委員がその職務を代理するものとされています。

つきましては、部会長より、部会長代理をご指名いただきますようお願いいたします。

部会長

それでは、多様な立場の公共交通事業者の皆様からなる本部会において、公正・中立に議事の進行を行っていただくため、府中市の職員である松村委員に部会長代理をお願いしたいと思います。委員の皆様よろしいでしょうか。

(異議なし)

委員

ただいま、部会長から部会長代理のご指名をいただきました、松村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

部会長

続きまして、次第「3 協議事項」に移ります。協議事項「市民アンケートの調査結果について」でございます。事務局より説明をお願いします。

○事務局

(資料1に基づき詳細説明)

○部会長

それでは、ここまで皆様何かご発言ありますか。集計結果が皆様の感覚と合っているかどうかについても何かあればご発言をお願いします。その他、集計方法に関するご質問等でも結構です。

委員(代理)

6ページ目の公共交通に対する評価・意見ということで調査いただいている部分がありますが、こちらは年代別でどのような評価や意見が出ているかを示されていると思います。右上の図3-1のとおり、地域別で点数化はされていますが、例えば地域別でご意見が異なっているなど、そのような事例や分析はありますか。

例えば、中心部は点数が高めに出ているかと思いますが、市の縁辺部では、こういった意見が多いというような傾向があれば教えていただきたいと思います。

事務局

市民アンケートでは、皆様から自由意見という形でご回答いただいている設問があ

りますが、本日は地域別に整理した資料を用意しておりませんので、今後整理したいと考えています。

部会長

おそらく、これはやらなければいけない分析であると思われます。一方で、地区別かつ年齢別で行うと、サンプル数が少なくなってしまうので、60代、70代でひとまとめにするなど、様々な手があると思います。

実際にやってみると、バスの本数が多い地域も少ない地域も、「バスの本数が少ない」という不満は変わらないということがあります。もちろん真摯に受け止めなければならぬのですが、計画にいかすという意味で有用なのか等の判断が必要になると思っています。

委員

今の話とかなり似ているのですが、特に図30については、年代別もさることながら、地域別の集計結果がとても気になりますので、是非集計をお願いしたいと思います。

また、可能ならば、この表の左から2番目の「目的地までのバスがない」という回答で言われている「目的地」はどこなのかが分かると良いと思います。この目的地が例えば駅であるならば、どこの駅なのかが知りたいところです。

自由回答の集計となると大変かと思いますが、もしあればありがたいです。

事務局

市民アンケートの設問においては不満点の項目をあらかじめ列挙しており、そのなかで「目的地までのバスがない」「バスの本数が少ない」という項目がありますが、「目的地」までは回答していただけていないので、その方の自由記述等を参考に、具体的な目的地を整理しておきたいと思います。

委員

5ページの図25で、鉄道駅利用時における移動実態ということで、日常生活利用駅が整理されていますが、質問が2つあります。

1つ目に、中に書かれている数字というのは、このアンケートのサンプルで取れた数字であるという理解でいいのでしょうか。

2つ目に、アンケートの聞き方として、通院や買い物などの目的に応じて利用する駅はどこかという聞き方をしているのか、目的に関係なく通常利用する駅はどこか、という聞き方をしているのか、どちらでしょうか。西武多摩川線の駅があまり乗られていないと思ったので、その点を教えていただければと思います。

事務局

今回実施した市民アンケートは、日用品の買い物、日用品以外の買い物、通院、通勤通学等の目的別でお聞きしているのとは別に、鉄道やバスの利用について、ここ1月間でどのように利用されているのか、どの駅を利用しているかということをお聞きしています。

図中の数字につきましては、例えば「中央」エリアの人は府中駅に107人移動しているというように、実数を表示しています。

委員

20代から60代ぐらいの方について、通勤をしているかどうか知りたいです。通勤しないという選択肢が増えてきているなかで、細かく言えば、週に何回通勤しているのかというような話にもなりますが、データとして把握していますか。

事務局

今回のアンケートの中では、通勤通学の回数と通勤先などをお伺いしているので、分析は可能です。

部会長

通勤している方とそうでない方では、市内の移動パターンが大きく異なる可能性があるため、しっかりと確認したほうがいいです。

部会長

次の議事に進みます。それでは、協議事項「(2)地域公共交通の課題の抽出に向けた今後の取組等について」、事務局よりご説明をお願いします。

○事務局

(資料2、3に基づき詳細説明)

部会長

それでは資料2と資料3につきまして、ご意見をよろしくお願いします。

委員

2ページ、府中市中心への移動の中の公共交通の弱みということで、路線バスとちゅうバスの重複区間があるというのは、おっしゃるとおりだと思っています。他の自治体の公共交通に関する会議でも、ここが課題として出てくることが多いので、コミュニティバス運用の課題の一つとして感じています。

その次のちゅうバスの距離が長い、遠回りであるというのは、これは一長一短と思っています。ちゅうバスの特徴としてほとんどの路線が府中駅につながっており、よく言えば府中市のどこからでも中心地である府中駅にアクセスすることができますが、悪く言うと、距離が長くなってしまいます。1台で走れる回数を犠牲にして、府中駅にアクセスしているというような側面もあるのかと思います。京王線が東西に走っていますので、多磨霊園駅や武蔵野台駅、東府中駅などを運行の拠点にすれば、1回の運行距離を短くして走れるのではないかと感じるところです。

最後に、自転車の利用という話で、駐輪場のことが書いてありますが、府中市内の道路でバスを運行させていただいている立場からすると、自転車のマナーが少し良くないと感じます。当社の営業エリアの中でも、府中エリアにおける自転車の怖さというのは、特に感じるところです。自転車が歩道を走っていたのに、いきなり車道に出てくることなどがあります。平坦な地形で自転車が走りやすいエリアということが大きいと思いますが、自転車が多く、それゆえに自転車の怖さを特に感じる地域であると感じています。

委員

色々なご意見を聞かれるために様々なことを準備されているということですので、弊社もなるべくご協力したいと思います。

また、弊社の中でも意見が出ているのは、今のこの状態はあくまでコロナ禍の状態

であって、まだワクチンが来ない中で行う調査結果であるので、ワクチンを打った後で行動範囲が大きく広がったときのお客さまの意見や感覚がとても変わってしまうような気がします。スケジュールの都合もあると思いますが、その辺りを柔軟に対応することも議論しながら、テレワークの普及など世の中の変化も気にしながら計画策定を進めるのがよいかと思いました。

部会長

細かく分析しようと思えば、色々なことができるわけですし、個々の事業者さんのご関心も当然あることだと思います。この地域公共交通計画が目指しているものは何か、知りたいことについて、ある程度ピンポイントで抽出していくことが大事かと思います。

今日の資料では、あくまで現状から課題を抽出するというアプローチとなっており、これは当然必要なことなのですが、市としてまちづくりや福祉等の観点から推進したい方向性があったうえで、アンケート調査をするというやり方ではないように思います。しかし、このように現状に合わせて公共交通の在り方を変えていくというやり方は、行政がやる計画というよりは、むしろ交通事業者に臨機応変にやっていただくべきことではないかと思います。

事務局に質問ですが、例えば計画の基本的な考え方や方向性、あるべきシナリオ等について、どの程度考えていらっしゃるでしょうか。また、今後そういう議論をする場があるのでしょうか。

事務局

部会長がおっしゃるとおりどのような公共交通の在り方を目指しているのかというのは、非常に大事な題材であるということは承知しています。本市において、第7次総合計画の策定や都市計画マスタープランの改定が進んでいる状況で、その中では、利便性の向上に向けた公共交通の在り方というところが大きなテーマとしてはございます。

今年度実施する調査などにより現状の把握や課題の整理などを行いながら、地域公共交通計画の方向性についても、検討していきたいと考えています。

部会長

とにかく利用実態を調査したいということであれば、ODをとるとか、コロナ禍の影響を補正しながらパーソントリップ調査の結果を使うということはあると思いますが、一方で、例えば利用実態は大まかにとらえたうえで、市民の移動の意識がどう変わったかということに特化して調査するということも考えられます。また、移動の意識の変化についても、場合によっては重要な要素ですが、一時的な変化と割り切ることも考えられます。市には平行して考えていただきたいと思います。

また、ちゅうバスの今後の在り方について事務局として考えがあるのであれば、それを踏まえて課題抽出することができますが、明確な方向性は決まっているのか、それとも、方向性を含めて広く議論するためにこの部会があるのか、そのあたりいかがでしょうか。

事務局

ちゅうバスの将来の在り方はまだ決まっておりません。現在のちゅうバスは、概ね府中駅を起点とした路線となっており、それには中心市街地の活性化や、市中心部へのアクセシビリティを高めるという導入当初からの目的があるのですが、ちゅうバスの導入

以来15年以上が経過した現在において、府中駅を中心とする路線だけでなく、地域の鉄道駅などを中心とした路線についても検討すべきとのご意見をいただいているところです。

また、運行面におきましても、これまで運行路線や運行時間の充実を図ってまいりましたが、事業費が年々上がってきていて、その一方で運賃は100円のままというところで、市の補助金の負担額がどうしても右肩上がりとなってしまう、財政面の負担も課題になっている状況があります。

今後の公共交通の在り方としては、ちゅうバスや路線バスなど、地域公共交通ネットワークを維持していくというのが一つの大きなテーマであり、ちゅうバスについても市民の足として維持をしていきたいと考えていますが、現時点では具体的なビジョンは検討中です。

部会長

ビジョンを示すのであれば、結果的には微修正になるとしても、考え方としてはかなり大きな変革として市民にお示しするものになるという感じがします。

生活圏内の交通を充実させるのか、あるいは移動時間はかかるものの市の中心部に手軽に来ていただけるような手段を選択肢として残しておくのかなど、様々な考え方があり、現状は後者に近いものとなっているように思います。現状を変えていくのかどうか、ビジョンは示す必要があると思いますし、それによって調査内容も変わってくるのではないかと考えます。

委員

事務局からもありましたけれども、元々ちゅうバスは交通不便地域の解消を目的に始まっていますが、最近は「運行経路を変えてほしい」等の要望を受けているのが実情で、これまでで確立した路線が今のニーズに合っているのか、改めて考える必要があると思っています。ちゅうバスの運行内容を検討するに当たっては、調査などによって現状を把握する中で、市民の声をきちんと聞かなければいけないと思っています。

部会長

非常に難しい問題だと思いますが、どこかでビジョンを定めないと袋小路にはいつてしまうかと思しますので、引き続き検討をお願いします。

本市の場合、通勤・通学の移動はある程度充足しているので、その他に注力していくべきです。特に、自動車に頼っているような地区の住民は、自動車が使えなくなるような年齢になると、途端に移動性が下がってしまいます。60歳ぐらいまでは、特に車を使っているエリアとそうでないエリアでも生活充足度は変わらないのですが、それが70歳ぐらいになると急速に変わってくるので、その格差のようなものを緩やかにする、見かけ上の交通不便さというよりも、そのような格差を縮めていくにはどうしたらいいかというような目標を立てるべきです。

また、通院のようなどうしても行かなければならない移動は、タクシーの利用などで概ね何とかかなると思いますが、行かなくてもいいけれども、出掛けたいというときに掛けられるかどうか、生活の質の向上につながるとすると、行かなければいけない用事以外でどれだけ出掛けしているかということが、実は高齢者にとっては重要なことです。

地域公共交通計画の策定に当たっては、利用実態だけでなく、考え得る課題に対して市としてどうあるべきか、もう一步踏み込んだものがあるとうれしいです。加えて、事業者さんとしても、事業をさらに継続していくために大事な要素をあげていただけ

ると、うまくいくと思っています。

委員

強み弱みというのがある、これはあくまでも想定として書かれています。この想定、要は仮説的なものがある、それが実際どうなっているのかという検証をしていくために、調査をかけていくというアプローチになっているのかなと思いながら聞いていましたが、そういう認識で良いのでしょうか。

事務局

強み弱みにつきましては、事務局で色々と分析していく中で想定されることを挙げさせていただいています。ちゅうバスが本当に地域のニーズに沿っているのかという点では、地域の高齢者の方々の生の声を把握している、地域で活動されている民生委員さんのご意見などを聞かないといけないと思っています。

想定している強み弱みをブラッシュアップするためには、実際に今の利用実態がどうなっているのかを様々なアンケートなどを実施しながら把握していきたいと考えています。

委員

まず仮説がある、アンケートなどで検証していきながら議論していくことによって、先ほど先生もおっしゃった、市としてこういう方向でやっていこうという方向性がある中でもいろいろ出てくるかなという気がします。仮説を持った状態で調査を実施する方が効率的ではないかと思い、質問させていただきました。

部会長

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

乗客数などのデータの提供可否については、各事業者さんにとっては重要な話ですので、個々に事務局とやりとりしていただければと思います。

また、シェアサイクルに関するデータ分析はどこまでやるかですが、これを見ると自転車での移動が明らかになるというデータがとればいいのですが、おそらくご自身で自転車を持っていらっしゃる方の移動パターンとこのシェアサイクルの移動パターンとは全然違うと思います。シェアサイクルらしい移動特性が分かると、何か市の地域公共交通計画に反映できそうなのであればよいのですが、事務局どうでしょうか。

事務局

シェアサイクルについては、「のりすけ」が府中市を中心として多摩地域で展開されていますので、運営会社に聞き取りやヒアリングなどを行い、データを提供していただけるかどうかを含めて相談したいと考えています。できる限り取得できるものは取得させていただいて、その内容を見ながら計画に反映していきたいと思っています。

部会長

ホームページからシェアサイクルに関するオープンデータを取得できる市もあります。

委員（代理）

近年「ライドシェア」という流れが世間一般ではよくいわれているかと思っています。

そういったものに対するアプローチというのは、この計画の中ではあまり検討されないイメージでしょうか。

先ほどからお話が出ているちゅうバスの課題等についても、既存の枠組みだけで考えていくと、どうしても枠を飛び出さないという印象があったもので、質問させていただきました。

事務局

現状の交通アクセスとしては、鉄道、路線バス、ちゅうバス、タクシーが中心となりますが、それらを代替できるような新たな交通手段として、ライドシェアも含めた可能性というのは検討することになると思います。

ただ、具体的にどこまで計画に位置付けるのかという点については、まだ決まっておられません。

部会長

例えば、福祉関係では福祉有償運送などの移動サービスもあり、資料を見ている限りは対象としないと思いますが、そうは言いながら福祉分野で実施しているサービスでもあるので、どのように役割分担をされていますか。

事務局

市民アンケートにおいて、交通手段として福祉有償運送を使われているかどうかについては聞いていますが、回答がそこまでなかった状況です。民生委員さんのアンケート調査も今並行してやっているところですので、福祉部局とも相談しながら、地域公共交通計画の対象とするのかどうか、調整していきたいと思います。

部会長

多摩地域だと、有償だけではなくて、道路運送法によらない運送を市の計画に入れている自治体もあります。ニーズがあまりないようであれば入れなくてもよいと思いますが、近隣市ではそういうところも視野に入れているようなので、府中市ではどうするかを検討する必要があると考えます。

アンケートでもインタビューでもそうなのですが、どのようなことで困っているかというのをきちんと知るといことはとても大事です。ただ難しいのは、府中市のように、健康な方はそれほど不満なく、不便なく移動されているようなところでは、「ごくたまに行く遠い場所に行けない」といった要望がたくさん出てきます。中央線をほとんど利用しないような方から「中央線に出られない」という要望がでるなど、調査結果を素直に捉えにくいところがあるので、ニーズがずれないように注意が必要です。

委員

鉄道事業者としては、駅からの二次交通とどのように連携を取るか研究しています。

その中でも、やはり自転車の存在というのは大きく、まちづくりに当たって自転車を生かした駅周辺にするのか、駅前に自転車を寄せつけず歩車分離するのか、二次交通をしっかりと中に入れるのかということで、こちらも営業スタイル等を変えなければいけないと考えています。そのあたりも意見交換ができるようになればと思います。

部会長

地域公共交通計画では、生活道路の計画と一体的に策定しているような自治体もあります。駅周辺をどうするのか、歩行空間や公共交通をどうするのかということと一

体となっています。本市では、あくまで公共交通プラス自転車が入るか否かというところですが、徒歩でのアクセス環境というかたちで、間接的に入り得る話と思います。これは、他の計画との連携という話にもなりますが、本体の協議会でも議論できればと思います。

委員

公共交通の利用者に対するアンケート調査などが中心となっていますが、事業者や道路などのインフラに対する調査や課題整理をどこかでやるのでしょうか。

例えば、府中本町駅へのバスが欲しいという調査結果が出たとしても、そもそも府中本町駅周辺にはバスが停まれないため実現できないなど、議論の前提条件の整理が必要になると思います。

部会長

交通結節点計画とも密接に関わる話です。本市の場合は、府中駅については整備が基本的には完了ということで、インフラの整備とは別なところで、あくまで交通網としての公共交通、輸送も含めて計画をしようとしている意図は感じます。

そもそもニーズがないということもあり得ますが、本当はもう少し広げたところで、バス待ち環境や、中規模駅でのバス結節機能をどうするかなどの議論も必要になるのではないかと思います。

事務局に伺いますが、あくまでこれは公共交通に特化した計画で、その外側については特に整理はしないのか、それともこの会議で整理をするのか、そのあたりはいかがでしょうか。

事務局

今想定している課題などは、利用者目線の部分が強いと思っています。実際にインフラ整備の計画とどう連携していくのかというところを見据えながら、本計画の中で包含できるものとは考えているのですが、走行環境を含めて道路整備をするというような話まで、この計画の中で対応していくことは、今のところ想定していません。

ただ、本計画で位置付ける施策に深く関連する個別計画との連携は重要と考えていますので、調整はしていきたいとは考えています。

部会長

今、市で動いている大きなインフラの事業というのは、あまりないという理解でいいですか。

委員

分倍河原駅周辺のまちづくりや府中基地跡地留保地の土地利用など、検討を進めている案件はありますが、具体的なものをどのタイミングで出せるかということはまだ分かりません。将来像が見えているものについては、出せるものは出して、それも含めて検討した方がよいとは考えています。

部会長

そうしましたら、資料2と3につきましては、引き続き事務局に調査内容を詰めていただくということによりよろしくお願いします。

部会長

次に「4 その他」について、事務局からお願いします。

事務局

次回の地域公共交通協議会につきましては、7月2日金曜日の午後2時を予定しています。会場は中央文化センターを予定しています。

また、利用者アンケートにつきましては、事業者の皆様にご相談等させていただきます。

部会長

それでは、本日の議事はこれで終了です。本日は閉会といたします。

どうもありがとうございました。

以 上